

2012 年度第 2 四半期決算報告書

参考和訳

プレスリリース
2012 年 8 月 2 日、パリ発

厳しい経済環境の中、業績は好調

株主帰属純利益
18 億 4800 万ユーロ（前年同期比 -13.2%）

リテールバンキングの預金残高は増加を維持

国内市場部門の預金残高
前年同期末比 +2.8%

コスト体質を新たな環境に適応

営業費用
63 億 3700 万ユーロ（前年同期比 -4.0%）

リスク費用は低水準にとどまる

リスク費用
8 億 5300 万ユーロ（前年同期比 -36.8%*）
*11 年度第 2 四半期のギリシャ関連のリスク費用を除けば +4.5%

事業適応計画は予定より大幅前倒しでほぼ完了

バーゼル 3 基準に基づくエクイティ TIER 1 比率 100 bp 増の目標のうち
90%を予定より早期に達成

潤沢な流動性

安定した余剰資金：520 億ユーロ（うち米ドルは 380 億ドルに上る）

極めて頑強な自己資本比率：2012 年 12 月末までにバーゼル 3（全面適用）に基づく 9%水準を満たす目標を実質上達成

バーゼル 2.5 エクイティ TIER 1 比率：10.9%
バーゼル 3（全面適用）エクイティ TIER 1 比率：8.9%





BNP PARIBAS

2012年8月1日にBNPパリバ取締役会が開催され、ボードゥアン・プロ会長が議長を務めるなか、当グループの2012年度第2四半期の業績が検討されました。

厳しい経済環境の中、業績は好調

BNPパリバは、欧州経済活動が一段と減速し、市場では新たな危機が発生するなど、厳しい環境に見舞われたにもかかわらず、当四半期において好調な業績を収めました。新規制に向けたグループの事業適応計画は、予定よりも大幅に前倒しで捗りほぼ完了しています。すなわち、エクイティ Tier 1 比率を 100bp 改善させる目標の 90% が既に完了しました。これによりバーゼル 3 基準（全面適用¹）に基づくエクイティ Tier 1 比率が 8.9% となり、2012 年 12 月末までに 9% を満たす目標は、予定より 6 ヶ月早く実質的に達成しています。

当四半期の営業収益は、2011 年度第 2 四半期から 8.0% 減少し、100 億 9800 万ユーロとなりました。営業収益は、リテール・バンキング事業（+0.5%²）ならびに資産運用及び証券管理事業（+2.2%）で増加しましたが、コーポレートバンキング・投資銀行事業（CIB）では、厳しい市場環境や事業適応計画に沿った取引残高の縮小が影響し、23.6% 減少しました。

営業費用は 63 億 3700 万ユーロとなりましたが、新たな環境にコスト体質を適応させる努力のおかげで、前年同期比 4.0% 減少しました。CIB の営業費用は、事業適応計画の影響を除くと 15.7% の減少でした。

これにより営業総利益は前年同期比 14.1% 減少し、37 億 6100 万ユーロとなりました。

グループの当四半期リスク費用は、融資残高の 50 ベーシスポイントに相当する 8 億 5300 万ユーロとなりましたが、2011 年度第 2 四半期との比較で 36.8% 低下しました。前年同期に実施されたギリシャ支援プログラムの影響である 5 億 3400 万ユーロを除くと、当四半期のリスク費用は +4.5% と小幅増にとどまりました。これはポートフォリオの質を反映するものであり、ひいてはグループの優れたリスク管理能力を表しています。

以上から、29 億 800 万ユーロとなった当四半期の営業利益の減少幅は、前年同期から 4.0% にとどまりました。

営業費用の低下とリスク費用の優れた管理が奏功し、BNPパリバは、厳しい環境にもかかわらず、18 億 4800 万ユーロに上る株主帰属純利益を計上しました。これは 2011 年度第 2 四半期からは 13.2% の減少となりました。

2012 年度上半期全体で、グループの業績の底堅さが証明されました。営業収益は 199 億 8400 万ユーロとなり、2011 年度上半期からは 11.8% の減収でした。これには当上半期に自己負債の再評価により認識された 5 億 5700 万ユーロの評価損（コーポレートセンターで計上）が特に影響しました。一方、事業部門合計の営業収益の減少幅は、前年度上半期との比較で 5.2% にとどまりました。

¹ 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮し、かつ BNPパリバの予想に基づいたエクイティ Tier 1 比率。

² 国内ネットワークのプライベート・バンキングの 100% を含み、PEL/CEL の影響を除く。



BNP PARIBAS

営業費用は、当上半期 -1.1%と若干減少し 131 億 8400 万ユーロとなり、その結果、営業総利益は前年度上半期から 27.2%減の 68 億ユーロとなりました。営業総利益の減少幅は、事業部門合計では -12.1%にとどまりました。

当上半期のリスク費用は 17 億 9800 万ユーロに上り、2011 年度上半期との比較で 20.8%低下しました。前年度上半期のリスク費用には、2011 年度第 2 四半期に計上されたギリシャ支援プログラムの影響である 5 億 3400 万ユーロが含まれていました。

2012 年度第 1 四半期に実施されたクレピエールに対する 28.7%持分の売却に伴う特別利益 17 億 9000 万ユーロを受けて、当上半期の株主帰属純利益は 47 億 1500 万ユーロに上り、2011 年度上半期とほぼ同水準（前年度上半期比 -0.6%）となりました。当上半期の年率換算後 ROE¹（株主資本利益率）は、クレピエール持分売却による特別利益を除外すると、9.0%となりました。1 株当たり純資産額²は、当上半期末で 59.5 ユーロに上り、2008 年 12 月末からの年平均成長率は 6.8%となっています。

*

* *

リテール・バンキング事業

国内市場部門

当四半期において国内市場部門の商業銀行業務は、とりわけ各ネットワークで預金残高の上昇傾向が維持されたことにより特徴付けられました。当四半期末の国内市場部門の預金残高は 2730 億ユーロに上り、前年同期末との比較で 2.8%増加しました。融資需要は鈍化したものの、貸出残高は前年同期末比で 1.7%増加しました。

当四半期の営業収益³は 39 億 6100 万ユーロに上り、手数料の低下にもかかわらず 2011 年度第 2 四半期⁴との比較で安定推移しました。営業費用³は前年同期比で 1.2%⁴減少し、4 つの国内市場のそれぞれにおいて正のジョーズ効果を生み出しました。

リスク費用が抑制されたことから、プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を、国内市場部門から資産運用および証券管理事業へ配分した後の税引前利益⁵は、10 億 7000 万ユーロに上り、前年同期比で +0.3%⁴の増益を果たしました。この好業績は、各国内市場部門が高い業績水準を維持したことにより達成されたものです。

¹ 年率換算の基礎は、自己負債の再評価に関わる修正を含む。

² 再評価を含まない。

³ フランス（PEL/CEL の影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

⁴ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

⁵ PEL/CEL の影響を除く。



フランス国内リテール・バンキング (FRB)

フランス国内リテール・バンキング (FRB) 部門においては、当四半期も積極的に顧客のニーズをサポートしました。景気減速にもかかわらず、融資残高は、とりわけ小規模事業者および法人向け融資が牽引し、2011年度第2四半期末比 3.3%増加しました。2012年度上半期中に 10 拠点の Small Business Center を開設し、SME イノベーション・ハブの稼働により零細企業および中小企業 (VSE & SME) を対象とする特別支援を継続しました。さらに、中小零細企業のために 50 億ユーロの新規融資枠が設けられました。当四半期末の預金残高は前年同期末比で 2.1%増加しましたが、これには特に普通預金の高い伸び (+8.7%) が貢献しました。保障保険の販売が 2012年度上半期に高い伸びを示し、前年度上半期との比較で販売件数が 17.0%の伸びを果しました。

当四半期の営業収益¹ は 17 億 7000 万ユーロとなり、2011年度第2四半期比 0.8%の減少でした。取引高の上昇を受けて純利息収入が 2.5%増加したものの、金融市場下落の影響で手数料収入が 5.4%減少したため、これを打ち消してしまいました。

業務効率の向上が奏功し、営業費用¹ は 2011年度第2四半期から 1.6%減少したため、FRB の営業総利益¹ は前年同期比 0.6%の増加となりました。

当四半期のリスク費用¹ は 8500 万ユーロとなり、融資残高の 22 ベーシスポイントで、比較的低い水準にとどまりました。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、当四半期の FRB の税引前利益² 5 億 5800 万ユーロは、前年同期比 0.9%の増益となりました。

2012年度上半期全体で、営業収益¹ は 2011年度上半期から -0.3%と若干減少しました。これは、取引高の上昇を受けて純利息収入が 2.7%増加したものの、金融市場下降の影響で手数料収入が 4.5%減少したため、これを打ち消したことによるものです。営業費用¹ が 1.2%削減されたことにより営業総利益¹ の 1.3%の増加をもたらし、また、営業収益対コスト比率¹ は 0.6 ポイント改善し 61.1%となりました。リスク費用¹ がある程度抑えられたことにより、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、FRB の税引前利益² は 11 億 6300 万ユーロとなり、前年度上半期比 1.2%の増益を果しました。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

厳しい経済環境にもかかわらず、BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) の商業銀行業務において預金残高は、法人顧客および地方行政機関が牽引し、前年同期比 2.8%増加しました。融資残高は、需要が低迷する業界のトレンドを反映し、-1.9%と若干減少しました。それでも複数の製造業、商業および農業分野の職能団体との間で、事業開発契約を締結しました。

当四半期の営業収益³ は 8 億 1300 万ユーロに上り、前年同期比 2.0%の増収でした。小規模事業者および法人向け融資に関わる利鞘が底堅く推移したことが特に貢献し、純利息収入が増加まし

¹ PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

² PEL/CEL の影響を除く。

³ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



BNP PARIBAS

た。手数料収入は、とりわけ新規融資の減少および市場下落による金融手数料の減少を受けて減収となりましたが、純利息収入の増加がこれを上回りました。

業務効率向上への取組みの効果により、営業費用³は前年同期比 1.8%低下し、4 億 4400 万ユーロとなりました。これにより BNL bc の営業総利益³は当四半期において 3 億 6900 万ユーロに上り、前年同期比 7.0%の増加を果たしました。

リスク費用³は、厳しい経済環境を受けて融資残高の 112 ベーシスポイントまで上昇しましたが、これは前年同期との比較で 3400 万ユーロの増加となります。それでも、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、BNL bc の税引前利益は 1 億 3200 万ユーロと底堅く推移し、前年同期比 8.3%の減益となりました。

2012 年度上半期全体で、営業収益¹は 2011 年度上半期から 2.1%増加しました。これを牽引したのは純利息収入の 6.1%の伸びですが、とりわけ小規模事業者および法人向け融資が貢献し、これが新規融資の低迷および市場下落で金融手数料の減少を原因とした手数料収入 5.3%の減少を吸収しました。営業費用¹が前年同期比 1.1%低下したことから 3.2 ポイントの正のジョーズ効果を生み出し、さらには営業収益対コスト比率¹を 54.4%へと改善させました。リスク費用¹が前年同期比で 14.0%増加したことを受けて、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、BNL bc の税引前利益は 2 億 8200 万ユーロとなり、前年同期比 4.7%の減益となりました。これは、厳しい経済環境にもかかわらず BNL bc の業績の底堅さを物語っています。

ベルギー国内リテール・バンキング (BRB)

ベルギー国内リテール・バンキング (BRB) 部門は、当四半期も国内経済への資金供給において積極的な役割を果たしました。融資残高は、個人顧客向け貸出に力を注いだ結果、2011 年度第 2 四半期末との比較で 4.0%²増加しました。預金残高は 2.3%²増加しましたが、とりわけ当座預金および普通預金がこれに貢献しました。営業努力はまた、iPhone や iPad 利用者向けサービスであるイージー・バンキング (Easy Banking) の導入にも表れています。

当四半期の営業収益³は 8 億 3700 万ユーロに上り、前年同期比 4.2%²の増収でした。市場環境の悪化により金融手数料を始めとする各種手数料収入が若干減少したものの、取引高の増加および利鞘の底堅さに支えられて純利息収入が伸びたことが、これに貢献しました。

営業費用³は 6 億 1200 万ユーロで 1.0%²の増加にとどまったおかげで、営業総利益³は前年同期比 14.0%²増の 2 億 2500 万ユーロに押し上げられました。

当四半期のリスク費用³は融資残高の 19 ベーシスポイントと穏やかな水準を維持し、前年同期比 1200 万ユーロ低下しました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、BRB の税引前利益は前年同期比+34.9%増加し、1 億 7400 万ユーロへと躍進しました。

¹ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

² 連結範囲変更による影響を除く。

³ ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



BNP PARIBAS

2012 年度上半期全体で、個人顧客からの手数料収入が減少したにもかかわらず、営業収益³は、取引高の増加により純利息収入が増加したおかげで、前年同期比 3.3%² の増収となりました。業務効率向上への取組みが奏功し、営業費用³ は +0.2%² の微増に抑えられたため、3 ポイントの正のジョーズ効果を生み出し、また営業収益対コスト比率³ は 71.9%へと改善しました。これにより営業総利益³ は、前年同期比 12.1%² 増加しました。リスク費用³ の 4.0%増加は依然として穏やかな上昇幅でしたが、これを受けて、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、BRB の税引前利益は 3 億 7500 万ユーロに上り、2011 年度上半期との比較で+19.8%の大幅増益となりました。

ルクセンブルク国内リテール・バンキング：当四半期末において融資残高は、前年同期末比 4.5% 増と順調な伸びを果たしましたが、とりわけ法人顧客セグメントが健闘しました。また当座預金が増え、預金残高も高い伸びを示しました (+9.3%)。商業銀行業務の内容は、「ルクセンブルク企業に 10 億ユーロを」キャンペーンの開始に加え、国内プライベート・バンキング業務の開発により強化されました。

個人投資家部門：当四半期末の運用資産額は、資金の純流入を運用パフォーマンスの悪化が打ち消したため、2011 年度第 2 四半期末とほぼ同水準でした。預金残高は前年同期末から大幅に伸びました (+12.0%)。ただし、顧客の金融市場離れのあおりを受けて仲介業務が低迷したため、営業収益は減少しました。

アルバル：当四半期末においてリース・フリートが前年同期末比 1.9%伸び、リース車両は 689,000 台へと増加しました。アルバルの営業収益は当四半期において、2011 年 12 月に実施した英国の燃料カード事業売却の反動で減収となりましたが、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、前年同期比で若干の増収でした。

リーシング・ソリューション：当四半期末においてリース資産残高は、前年同期末比で 10.3%減少しましたが、これは事業適応計画に沿ったものです。ただし、取引の収益性を重視して選択する方針のおかげで、残高減少がリーシング・ソリューション部門の営業収益に及ぼした影響は限定的でした。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、これら 4 つのビジネスユニットは、国内市場部門の税引前利益に対して 2 億 600 万ユーロ (前年同期比 -13.1%¹) の貢献を果たしました。

2012 年度上半期全体で、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、これら 4 つのビジネスユニットは、国内市場部門の税引前利益に対して合計 4 億 2500 万ユーロ (前年同期比 -9.9%¹) の貢献を果たしました。

*
* *

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



BNP PARIBAS

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門は、当四半期も活発な営業およびマーケティング活動を継続しました。預金残高が前年同期末比 13.9%¹ 増加し、ほとんど全ての国がこれに貢献しましたが、なかでもトルコでの 41.5%¹ 増が突出していました。融資残高は当四半期末において 4.8%¹ 増加し、特にトルコが好調であったのに対し、ウクライナでは減少が続きました (-29.3%¹)。

当四半期の営業収益は 4 億 4800 万ユーロに上り、前年同期比 9.3%¹ の増加を果たしました。ウクライナでは融資残高減少を受けて営業収益が低下したにもかかわらず、とりわけトルコでの大幅増収 (+38.0%¹) が収益を後押ししました。ウクライナを除くと、営業収益は前年同期比 16.4%¹ の増収でした。

営業費用は、前年同期比 4.2%¹ 増加しました。地中海地域で支店網の強化を継続したことがその要因の一つですが、過去 1 年間でモロッコを始めとする国々で 53 店舗を開設したことが影響しています。トルコでは、営業費用の増加が前年同期比 +5.5%¹ に抑えられたため、TEB (トルコ・エコノミ・バンク) の営業収益対コスト比率は 68.0% へと大幅に改善しました。

当四半期のリスク費用は 4500 万ユーロとなり、融資残高の 74 ベースポイントへと改善しました。以上から、欧州・地中海沿岸諸国部門は、当四半期に 8200 万ユーロの税引前利益を計上し、前年同期比 52.7%¹ 増の快挙を遂げました。

2012 年度上半期全体で、営業収益は、トルコおよび地中海沿岸諸国の好業績により、2011 年度上半期から 4.7%¹ の増収を果たしました。営業費用は、地中海地域での支店網強化の影響で 4.2%¹ 増加したため、営業収益対コスト比率は 75.6% となりました。当上半期のリスク費用が前年同期比 10.1%¹ 低下したことから、税引前利益の 1 億 800 万ユーロは前年同期比 55.1%¹ 増の大躍進を果たしました。

バンクウェスト

バンクウェストでは、活発な営業およびマーケティング活動が功を奏しました。当四半期末の預金残高は、当座預金および普通預金の高い伸びが牽引し、2011 年度第 2 四半期末から 8.3%¹ 増加しました。融資残高は、法人向け融資が回復基調を維持 (+13.6%¹) したことに加え、中小零細企業 (SME) セグメントへの事業投資の効果を享受して、前年同期末比 3.3%¹ 増加しました。活発な営業およびマーケティング努力はまた、モバイルバンキングサービスの急増にも反映されています。

しかしながら当四半期の営業収益は、手数料に関する規制変更が悪影響を及ぼし、前年同期比 1.8%¹ の減収となりました。規制変更の影響を除くと、営業収益は +0.1%¹ の微増でした。取引高の増加による効果が、金利低下の影響でほぼ相殺された形になりました。

営業費用は前年同期比 1.9%¹ 増加しました。これは、プライベート・バンキング業務の開発に加え、法人および小規模事業者を対象とした販売体制の拡充に要する費用のためです。

リスク費用は当四半期も低下傾向をたどり、融資残高の 32 ベースポイントへと改善し、2011 年度第 2 四半期からは 3000 万ユーロの減少でした。

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



BNP PARIBAS

以上から、バンクウエストは当四半期に 2 億 3200 万ユーロの税引前利益を計上し、前年同期比 9.6%¹ の増益となりました。よって、バンクウエストが BNP パリバ・グループの業績に対して果たす貢献は、強力で拡大しつつあることが証明されました。

2012 年度上半期全体で、営業収益は手数料に関する規制変更の影響を受け、-0.8%¹ と微減でした。営業費用は、プライベート・バンキングの組織構築への投資に加え、小規模事業者および法人向け販売体制の強化に関わる投資により、2012 年度上半期は 3.1%¹ 増加しました。その結果、営業収益対コスト比率が 2 ポイント悪化し、57.1%となりました。それでもリスク費用が大幅に減少したため (-47.2%¹)、税引前利益は 4 億 3800 万ユーロに上り、2011 年度上半期との比較で 10.2%¹ の増益を果たしました。

パーソナル・ファイナンス

当四半期末において消費者ローン残高は前年同期末比 0.8%増加しました。コメルツ銀行との提携が成功したドイツに加えベルギーおよびロシアでも確かな成長を確保したことがその一要因ですが、一方、フランスでは新規制の導入が影響し残高が減少しました。住宅ローンに関しては、バーゼル 3 基準に向けた事業適応計画の実施が、ローン残高の前年同期末比 1.1%減少に反映された形となりました。これらの影響が重なり、また新規制がマージンに及ぼした影響から、当四半期の営業収益は前年同期比で 5.0%減少し、12 億 4400 万ユーロとなりました。

当四半期の営業費用は、事業適応計画が奏功し、前年同期比 3.4%の減少により 5 億 9200 万ユーロとなりました。なお、適応計画に関わる当四半期の費用 (1700 万ユーロ) を排除すると、営業費用の減少はより顕著となり (-6.2%)、これにより 1.2 ポイントの正のジョーズ効果が生み出されました。

リスク費用は当四半期に 3 億 7400 万ユーロとなり、融資残高の 166 ベーシスポイントに相当しますが、その改善基調が維持され前年同期から 3200 万ユーロの減少を果たしました。

以上から、パーソナル・ファイナンス部門の税引前利益は 3 億 600 万ユーロに上り、前年同期比で -1.6%と、若干の減益でした。厳しい環境にあってもパーソナル・ファイナンスは、その利益創出能力を維持しました。

2012 年度上半期全体で、営業収益は、フランスでの新規制の導入が特に影響し、2011 年度上半期との比較で 5.5%の減収でした。営業費用は、事業適応計画に関わる費用 (4700 万ユーロ) が響いて 2.5%増加しました。適応計画費用を排除すると、営業費用は 1.4%減少し、営業収益対コスト比率は 48.0%になります。リスク費用が 2011 年度上半期から 16.2%低下したことを受けて、税引前利益は 5 億 9200 万ユーロとなり、4.7%の減益でした。

*
* *

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



資産運用および証券管理事業

2012 年度上半期において、資産運用および証券管理事業への純資金流入額は 85 億ユーロ¹ に上りました。2012 年度第 1 四半期の純資金流入額（126 億ユーロ）は、第 2 四半期の純流出額（41 億ユーロ）に一部相殺されましたが、その影響は限定的でした。資産運用部門を除く全ての業務部門で、以下のように純資金流入に貢献しました。すなわち、プライベート・バンキング部門においては、特に第 2 四半期の国内市場およびアジアで安定した資金流入があり、73 億ユーロの純増でした。保険部門は、フランス国外、特にアジア（台湾、韓国、インド）での資金流入が好調で、14 億ユーロの純増となりました。個人投資家部門では 11 億ユーロの純資金流入があり、また、不動産サービスでは 6 億ユーロの純増でした。資産運用部門では、マネーマーケットファンドおよび債券ファンドへの資金流入が、その他のアセットクラスからの純流出により打ち消され、ネットでは 19 億ユーロの流出となりました。

2012 年度上半期中の純資金流入に加え、良好な運用パフォーマンスの効果（第 1 四半期中の株式相場の上昇は、第 2 四半期の相場下落で一部相殺されましたが）、および為替相場が有利な方向に動いたことも相まって、運用資産残高² が膨らみ、2011 年 12 月末から 3.6% 増の 8730 億ユーロに上りました。

2012 年度第 2 四半期の資産運用および証券管理事業の営業収益は 15 億 6600 万ユーロに上り、前年同期比 2.2% の増収でした。富裕層向け資産運用部門からの営業収益は、資産運用部門の運用残高の減少により、前年同期比 4.2% 減少しました。保険部門の営業収益は、フランス国外での保障保険および貯蓄の伸びにより、前年同期比 10.7% 増加しました（イタリアのカーディフ・ヴィタの連結子会社化による影響を除くと 6.6% の増加）。証券管理部門の営業収益は、前年同期比 5.0% の増収でした。全ての国で事業が順調に成長し、証券管理部門のカストディ資産および管理資産が、それぞれ 4.7% と 9.4% の伸びを果たしたことが貢献しました。

資産運用および証券管理事業の営業費用は 10 億 6800 万ユーロとなり、前年同期比 2.8% 増加しました。これは、アジア地域を始め各地で保険および証券管理業務の事業開発投資が継続された一方で、資産運用部門での事業適応計画実施の効果が費用の増加を一部相殺したことによるものです。資産運用部門の営業費用は当四半期に 3.3% 減少しました。資産運用および証券管理事業の営業総利益は、当四半期に 4 億 9800 万ユーロに上り、前年同期比 0.8% の増益となりました。

国内市場プライベート・バンキングの純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、当事業部門の税引前利益は前年同期からほぼ横ばい（-0.4%）の 5 億 3100 万ユーロとなりました。これは保険および証券管理業務が特に好調であったことに加え、当事業部門の全体的な粘り強さの表れといえます。

2012 年度上半期全体で、資産運用および証券管理事業の営業収益は、2011 年度上半期から +1.1% と、わずかに増加しました。富裕層向け資産運用部門では運用資産残高の減少で営業収益が 6.7% 減少したのに対し、保険事業の 11.2% 増収（イタリアのカーディフ・ヴィタの連結子会社化による影響を排除すると 6.2% の増収）に加え、証券管理部門の営業収益の 5.7% 増加により、減収要因を相殺しました。営業費用は以下の要因により、2011 年度上半期から 1.4% 増加しました。すなわち、保険および証券管理業務の事業開発投資が負担となった一方、富裕層向け資産運用部門ではコスト体質を新たな環境に適応させる取組みが奏功し、同部門の営業費用は 3.2% 減少しました。以上から、営業収益対コスト比率が若干上昇し（+0.3 ポイント）、68.4% となりました。

¹ 個人投資家部門を含む。

² 外部顧客のためのアドバイザー契約資産および個人投資家部門を含む。



BNP PARIBAS

2012 年度上半期の税引前利益は 10 億 1400 万ユーロとなり、前年同期比 4.8%減少しました（連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと 3.5%の減益）。

*
* *

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業の営業収益は、当四半期は 22 億 3000 万ユーロとなり、前年同期比 23.6%減少しました。

アドバイザーおよびキャピタル・マーケット業務の営業収益は 12 億 700 万ユーロとなり、前年同期比 33.1%の減少でした。資本市場が危機に見舞われボラティリティが上昇したのを背景に、顧客からの需要が低迷するとともに、業務の運用は、VaR（バリュー・アット・リスク）の平均が低水準（4600 万ユーロ）で維持されたことに表れるように、慎重に行われました。このような厳しい環境にありながらも、当業務部門は業界での地位を堅持しました。

フィクスド・インカム業務の営業収益は、以下の要因から、前年同期比 25.3%減の 8 億 3800 万ユーロとなりました。すなわち、バーゼル 2.5 およびバーゼル 3 基準に向けたバランスシートのレバレッジ削減努力による影響に加え、顧客の取引需要が減少し、特にユーロ建て債券の発行が低迷しました。困難な環境にありながらも当部門は、債券発行業務におけるリーダー的地位を当四半期も確認しました。すなわち、ユーロ建て全債券において第 1 位を、また、国際債券において第 6 位を確保しました。その他にも、当部門は、金利および為替業務で好業績を収めました。

株式およびアドバイザー業務の営業収益は 3 億 6900 万ユーロとなり、前年同期比 45.8%減少しました。これは、閑散とした市場を反映しフロー業務が減少したことに加え、ストラクチャード商品に対する顧客の需要が低迷したことによるものです。株式の発行市場においても、株式相場の不振を受けて新規発行は限られていました。

コーポレートバンキング業務の営業収益は粘り強さを発揮し、減収幅が前年同期比 8.4%に抑えられ 10 億 2300 万ユーロとなりました。融資債権の売却による影響を除くと 15.1%の減収になりますが、これはバーゼル 3 基準に向けた事業適応計画に沿ったものです。なお、融資債権の売却により、当四半期の営業収益に対して 7500 万ユーロの押し上げ効果がありました。これは米国を拠点とした鉱物資源担保融資業務の譲渡により、キャピタルゲインを実現化したことによるものです。

コーポレートバンキング業務の海外展開は世界 40 カ国以上で 60 を超す拠点から構成され、顧客層には 11,000 近くの法人および各種機関が含まれ、さらにリテール・バンキングで 4,500 の中堅企業をクロスセリングの顧客としています。こうした基盤を積極的に活用することにより、事業適応計画の影響を受けながらも、コーポレートバンキング業務は確かな業績を収めました。ファイナンス業務に関しては、ビジネスモデルの調整を継続した結果、当四半期末の融資残高は 2011 年 12 月末の水準から正味 9.2%減少しました。また、「オリジネート・アンド・ディストリビュート」モデルをいくつもの代表的な取引で実践したことで、コーポレートバンキング業務はオリジネーションで確固たる地位を維持しました。加えて、当部門は、BNP パリバのグローバル・キャッシュ・マネジメント・サービスの開発による恩恵を受けました。キャッシュ・マネジメントで BNP パリバは世界第 5 位の地位を確立しており、フランス国内および欧州地域で強固な基盤を築くとともに、アジアでも強力なプレゼンスを有しています。当部門は、2012 年度第 2 四半期に、複数の重要なマニフェストを獲得しました。さらに、預金基盤の拡充を目指して発足した意欲的な計画の一環として、法人預金サービスの提供を開始しました。



BNP PARIBAS

CIB の当四半期の営業費用は 13 億 9700 万ユーロに上り、前年同期比 13.4%減少しました。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除き、かつ事業適応計画に関わる費用（3800 万ユーロ）を排除すると、営業費用の減少幅は 20.1%となります。これは、全従業員を対象に押し進められている適応化の費用が特に影響しているからです。

ポートフォリオのクオリティの高さのおかげで、景気の悪化にもかかわらずリスク費用は低水準（1900 万ユーロ）にとどまり、CIB の税引前利益は前年同期比 40.1%減の 8 億 2100 万ユーロとなりました。

2012 年度上半期全体で、CIB の営業収益は前年同期比 16.7%減少し、53 億 5100 万ユーロとなりました。アドバイザーおよびキャピタル・マーケット業務の営業収益は、2012 年第 2 四半期に発生した市場危機のおおりのを受けて 16.6%減少しました。コーポレートバンキング業務の営業収益は、事業適応計画に沿った融資残高の縮小により、16.8%減少しました。営業費用は 2011 年度上半期との比較で 4.3%減少しました。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除き、かつ適応計画に関わる費用（9200 万ユーロ）を排除すると、営業費用は 10.5%減少しました。CIB の営業収益対コスト比率は、当上半期に 61.5%となりました。当上半期のリスク費用 9700 万ユーロは低い水準でしたが、貸倒引当金の戻し入れが純額で 700 万ユーロに上った前年度上半期からは増加しました。税引前利益は 19 億 8800 万ユーロとなり、前年同期比 34.8%の減益でした。

*
* *

コーポレート・センター

当四半期においてコーポレート・センターは、2 億 500 万ユーロの営業収益を計上しましたが、これは前年同期の営業収益 4 億 600 万ユーロからは大幅な減収でした。当四半期の営業収益には以下が反映されています。すなわち、自己負債の再評価益 +2 億 8600 万ユーロ（対して前年同期は +1400 万ユーロ）；カーディフ・ヴィタおよびフォルティスに関わる公正価値修正額の償却の合計が +1 億 4100 万ユーロ（対して前年同期は +1 億 4200 万ユーロ）；ソブリン債の売却に伴う損失が -9000 万ユーロ（前年同期は僅少額）です。また 2011 年度第 2 四半期のコーポレート・センターの営業収益には、BNP パリバ・プリンシパル・インベストメントによる営業収益 +9400 万ユーロに加え、クレピエールによる営業収益 +8100 万ユーロが含まれていました。

当四半期の営業費用は 1 億 9300 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は 2 億 8100 万ユーロでした。当四半期の営業費用には、事業再編費用 1 億 400 万ユーロが含まれていません（対して前年同期は 1 億 4800 万ユーロ）。

当四半期のリスク費用は僅少額で 200 万ユーロにとどまりました。これに対し前年同期のリスク費用には、ギリシャ支援プログラムに関わる 5 億 1600 万ユーロの影響が含まれていました。

その他営業外項目は、レーザー・ネーデルランドに関わる暖簾の減損 -2700 万ユーロが特に負担となり、-4800 万ユーロに上りました。

当四半期の税引前損益は -300 万ユーロの損失となり、これに対し前年同期は -2 億 5900 万ユーロの損失でした。



BNP PARIBAS

2012 年度上半期全体で、コーポレート・センターの営業収益は6 億 7800 万となったのに対し、2011 年度上半期の営業収益は 8 億 7700 万ユーロでした。これらには以下が含まれています。すなわち、自己負債の再評価による影響 -5 億 5700 万ユーロ（前年度上半期は+1400 万ユーロ）；カードیف・ヴィタおよびフォルティスに関わる公正価値修正額の償却 +3 億 2500 万ユーロ（前年度上半期は +3 億 4500 万ユーロ）；ソブリン債の売却に伴う損失 -2 億 3200 万ユーロ（前年度上半期は僅少額）；劣後ハイブリッド・エクイティリンク債（CASHES）の転換による影響 -6800 万ユーロ；さらに、クレピエールからの営業収益 +6100 万ユーロ（前年度上半期は +1 億 5500 万ユーロ）です。コーポレート・センターの 2011 年度上半期の営業収益にはまた、BNP パリバ・プリンシパル・インベストメンツからの営業収益 +2 億 1600 万ユーロが含まれていました（2012 年度上半期は+3100 万ユーロ）。

2012 年度上半期においてコーポレート・センターの営業費用は、前年度上半期の 5 億 2200 万ユーロから、4 億 1500 万ユーロへと低下しました。これは主に事業再編費用が減少したことによるものです（前年度上半期の 2 億 7200 万ユーロに対し、当上半期は 1 億 6900 万ユーロ）。

リスク費用は当上半期に 2700 万ユーロに上りました。これに対し前年度上半期は、ギリシャ支援プログラムに関わる 5 億 1600 万ユーロの影響を含んでいたため、リスク費用は 4 億 5700 万でした。

その他営業外項目は、当上半期に 16 億 2800 万ユーロの収益となりました（対して前年度上半期は 5800 万ユーロ）。とりわけ、クレピエールに対する 28.7%持分の売却に伴うキャピタルゲイン 17 億 9000 万ユーロが、当上半期に影響しました。

税引前利益は当上半期に 6 億 1500 万ユーロとなり、これに対し前年度上半期は 3400 万ユーロの損失でした。

*
* * *

流動性および資金調達

グループの流動性の状況は極めて良好でした。

グループのキャッシュ・バランスシートは、銀行業務の健全性の見地から作成されており、デリバティブ、レポ、証券貸借取引、および未払・未収金勘定を相殺したネットベースで、2012 年 6 月 30 日現在、9870 億ユーロに上りました。株主資本、顧客預金および中長期資金の合計額は、顧客業務からの資金需要および有形・無形資産の合計額との比較で、520 億ユーロの安定した余剰資金を生み出しました。かかる超過額は当四半期においてほぼ変動することなく、かつ、2011 年 12 月末の水準を 210 億ユーロ上回りました。

グループの即時利用可能な流動資産は、当四半期末で 2000 億ユーロ（うち、290 億米ドルが米連邦準備銀行での預金）に上りましたが、これは短期ホールセール資金のほぼ 100%に相当します。

2012 年度に予定されている 200 億ユーロに上るグループの中長期債発行は、計画の 100%を超える調達が既に完了しています。2011 年 11 月から 2012 年 7 月上旬までの間に、220 億ユーロの資金が調達されました。調達コストはミッドスワップレートに対して平均 112 bp の上乗せとなり、また償還期間の平均は 5.7 年となりました。



*
* *

自己資本比率

グループのエクイティ Tier 1 の金額は、2012 年 6 月 30 日現在、632 億ユーロに上り、2012 年 3 月 31 日の水準から 31 億ユーロ増加しました。この増加分には、事業活動による利益創出が +12 億ユーロ、株主の 72%が 2011 年度利益配当について株式配当を選択したことによる効果が +10 億ユーロ、さらに、為替相場による影響が +6 億ユーロ含まれています。

リスク加重資産¹ は当四半期末 5 億 7800 万ユーロに上り、2012 年 3 月 31 日の水準から安定しました。事業適応計画の影響（70 億ユーロの削減）は、為替相場の影響によりほぼ相殺された形になりました（とりわけ米ドルの上昇が影響）。

以上から、2012 年 6 月 30 日現在、バーゼル 2.5 基準に基づくエクイティ Tier 1 比率は 10.9%となり、2012 年 3 月 31 日の水準から 50 bp 上昇しました。かかるエクイティ Tier 1 比率は、2011 年末から施行された欧州における資本要求指令 3（CRD3）の規制に準拠しています。また、欧州銀行監督機構（EBA）が設定した、2012 年 6 月末までにエクイティ Tier 1 比率を 9%まで引き上げるという目標は、大幅超過で達成しました。なお、EBA は欧州の銀行に対し、CRD3 を満たした後さらに、自己資本比率の算定において、保有する欧州ソブリン債の含み損に対応する控除（BNP パリバの場合 40 bp）を行うよう要求しています。

バーゼル 3 基準に基づくエクイティ Tier 1 比率は、経過措置なしで CRD4² 規則を全て考慮した場合でも（バーゼル 3 の全面適用）、2012 年 6 月 30 日現在で 8.9%となりました。これは、保有する欧州ソブリン債の再評価に関わる 40 bp を控除した後の比率です。

従って、2012 年 12 月 31 日までにバーゼル 3 全面適用によるエクイティ Tier 1 比率 9%を満たすという目標は、6 ヶ月前倒しで実質的に達成されているといえます。

*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は、次のように述べています。

「多角化されバランスのとれたビジネスモデルと全従業員の献身のおかげで、BNP パリバグループは、厳しい経済および市場環境において、当四半期に好業績を収めることができました。」

事業適応計画は大幅前倒しでほぼ達成されました。また、自己資本比率は強化され、2012 年 12 月末までにバーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率 9%を満たす目標は、実質的に達成されて

¹ バーゼル 2.5 基準。

² CRD4 の拘束力が発生するのは 2019 年 1 月 1 日以降と BNP パリバでは予想している。CRD4 については現在も欧州議会で審議中であるため、その指令内容は解釈に依存するところがあり、また、今後修正される可能性もある。



BNP PARIBAS

います。従って、今日 BNP パリバは、世界の主要なグローバル銀行の中で最も資本の充実した銀行のひとつであるといえます。

BNP パリバは経済への資金供給において積極的な役割を果たすとともに、全ての業務部門にわたり顧客のニーズをサポートしています。」



連結損益計算書

	2Q12	2Q11	2Q12 / 2Q11	1Q12	2Q12/ 1Q12	1H12	1H11	1H12 / 1H11
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	10,098	10,981	-8.0%	9,886	+2.1%	19,984	22,666	-11.8%
営業費用および減価償却費	-6,337	-6,602	-4.0%	-6,847	-7.4%	-13,184	-13,330	-1.1%
営業総利益	3,761	4,379	-14.1%	3,039	+23.8%	6,800	9,336	-27.2%
リスク費用	-853	-1,350	-36.8%	-945	-9.7%	-1,798	-2,269	-20.8%
営業利益	2,908	3,029	-4.0%	2,094	+38.9%	5,002	7,067	-29.2%
関連会社損益	119	42	n.s.	154	-22.7%	273	137	+99.3%
その他営業外項目	-42	197	n.s.	1,690	n.s.	1,648	173	n.s.
税引前利益	2,985	3,268	-8.7%	3,938	-24.2%	6,923	7,377	-6.2%
法人税	-914	-956	-4.4%	-927	-1.4%	-1,841	-2,131	-13.6%
少数株主帰属純利益	-223	-184	+21.2%	-144	+54.9%	-367	-502	-26.9%
株主帰属純利益	1,848	2,128	-13.2%	2,867	-35.5%	4,715	4,744	-0.6%
営業収益対コスト比率	62.8%	60.1%	+2.7 pt	69.3%	-6.5 pt	66.0%	58.8%	+7.2 pt

BNP パリバの 2012 年度第 2 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 221-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



BNP PARIBAS

2012 年度第 2 四半期 - コア事業部門別業績

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位:百万ユーロ)						
営業収益	6,097	1,566	2,230	9,893	205	10,098
対前年同期比	-0.4%	+2.2%	-23.6%	-6.4%	-49.5%	-8.0%
対前四半期比	-0.5%	+3.0%	-28.5%	-8.1%	n.s.	+2.1%
営業費用および減価償却費	-3,679	-1,068	-1,397	-6,144	-193	-6,337
対前年同期比	+0.3%	+2.8%	-13.4%	-2.8%	-31.3%	-4.0%
対前四半期比	-0.3%	+2.4%	-26.2%	-7.3%	-13.1%	-7.4%
営業総利益	2,418	498	833	3,749	12	3,761
対前年同期比	-1.4%	+0.8%	-36.3%	-11.9%	-90.4%	-14.1%
対前四半期比	-0.8%	+4.2%	-32.2%	-9.5%	n.s.	+23.8%
リスク費用	-833	-3	-19	-855	2	-853
対前年同期比	-4.1%	-84.2%	n.s.	-1.2%	n.s.	-36.8%
対前四半期比	+0.7%	-72.7%	-75.6%	-6.7%	n.s.	-9.7%
営業利益	1,585	495	814	2,894	14	2,908
対前年同期比	+0.1%	+4.2%	-38.8%	-14.6%	n.s.	-4.0%
対前四半期比	-1.6%	+6.0%	-29.3%	-10.3%	n.s.	+38.9%
関連会社損益	47	35	6	88	31	119
その他営業外項目	4	1	1	6	-48	-42
税引前利益	1,636	531	821	2,988	-3	2,985
対前年同期比	+0.7%	-0.4%	-40.1%	-15.3%	-98.8%	-8.7%
対前四半期比	-2.0%	+9.9%	-29.6%	-10.0%	n.s.	-24.2%

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位:百万ユーロ)						
営業収益	6,097	1,566	2,230	9,893	205	10,098
前年同期	6,122	1,533	2,920	10,575	406	10,981
前四半期	6,127	1,521	3,121	10,769	-883	9,886
営業費用および減価償却費	-3,679	-1,068	-1,397	-6,144	-193	-6,337
前年同期	-3,669	-1,039	-1,613	-6,321	-281	-6,602
前四半期	-3,690	-1,043	-1,892	-6,625	-222	-6,847
営業総利益	2,418	498	833	3,749	12	3,761
前年同期	2,453	494	1,307	4,254	125	4,379
前四半期	2,437	478	1,229	4,144	-1,105	3,039
リスク費用	-833	-3	-19	-855	2	-853
前年同期	-869	-19	23	-865	-485	-1,350
前四半期	-827	-11	-78	-916	-29	-945
営業利益	1,585	495	814	2,894	14	2,908
前年同期	1,584	475	1,330	3,389	-360	3,029
前四半期	1,610	467	1,151	3,228	-1,134	2,094
関連会社損益	47	35	6	88	31	119
前年同期	33	-8	13	38	4	42
前四半期	55	9	14	78	76	154
その他営業外項目	4	1	1	6	-48	-42
前年同期	7	66	27	100	97	197
前四半期	5	7	2	14	1,676	1,690
税引前利益	1,636	531	821	2,988	-3	2,985
前年同期	1,624	533	1,370	3,527	-259	3,268
前四半期	1,670	483	1,167	3,320	618	3,938
法人税						-914
少数株主帰属純利益						-223
株主帰属純利益						1,848



2012年度中間決算(1-6月) - コア事業部門別業績

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位:百万ユーロ)						
営業収益	12,224	3,087	5,351	20,662	-678	19,984
対前年同期比	-0.7%	+1.1%	-16.7%	-5.2%	n.s.	-11.8%
営業費用および減価償却費	-7,369	-2,111	-3,289	-12,769	-415	-13,184
対前年同期比	+1.1%	+1.4%	-4.3%	-0.3%	-20.5%	-1.1%
営業総利益	4,855	976	2,062	7,893	-1,093	6,800
対前年同期比	-3.3%	+0.3%	-31.0%	-12.1%	n.s.	-27.2%
リスク費用	-1,660	-14	-97	-1,771	-27	-1,798
対前年同期比	-8.0%	+0.0%	n.s.	-2.3%	-94.1%	-20.8%
営業利益	3,195	962	1,965	6,122	-1,120	5,002
対前年同期比	-0.6%	+0.3%	-34.4%	-14.6%	n.s.	-29.2%
関連会社損益	102	44	20	166	107	273
その他営業外項目	9	8	3	20	1,628	1,648
税引前利益	3,306	1,014	1,988	6,308	615	6,923
対前年同期比	+0.2%	-4.8%	-34.8%	-14.9%	n.s.	-6.2%
法人税						-1,841
少数株主帰属純利益						-367
株主帰属純利益						4,715
年率換算後 ROE (株主資本純利益率)						



四半期決算

(単位：百万ユーロ)	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
グループ事業						
営業収益	10,098	9,886	9,686	10,032	10,981	11,685
営業費用および減価償却費	-6,337	-6,847	-6,678	-6,108	-6,602	-6,728
営業総利益	3,761	3,039	3,008	3,924	4,379	4,957
リスク費用	-853	-945	-1,518	-3,010	-1,350	-919
営業利益	2,908	2,094	1,490	914	3,029	4,038
関連会社損益	119	154	-37	-20	42	95
その他営業外項目	-42	1,690	-127	54	197	-24
税引前利益	2,985	3,938	1,326	948	3,268	4,109
法人税	-914	-927	-386	-240	-956	-1,175
少数株主帰属純利益	-223	-144	-175	-167	-184	-318
株主帰属純利益	1,848	2,867	765	541	2,128	2,616
営業収益対コスト比率	62.8%	69.3%	68.9%	60.9%	60.1%	57.6%



BNP PARIBAS

(単位: 百万ユーロ)	2012	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
リテール・バンキング(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CELの影響を除く						
営業収益	6,259	6,260	6,132	6,143	6,230	6,301
営業費用および減価償却費	-3,735	-3,743	-3,932	-3,766	-3,726	-3,674
営業総利益	2,524	2,517	2,200	2,377	2,504	2,627
リスク費用	-832	-827	-918	-845	-869	-936
営業利益	1,692	1,690	1,282	1,532	1,635	1,691
営業外損益	51	60	97	83	40	43
税引前利益	1,743	1,750	1,379	1,615	1,675	1,734
資産運用および証券管理事業帰属利益	-53	-57	-46	-45	-57	-58
リテール・バンキング税引前利益	1,690	1,693	1,333	1,570	1,618	1,676
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	33.7	34.0	32.9	32.9	32.7	32.8
(単位: 百万ユーロ)						
リテール・バンキング(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	6,097	6,127	6,006	6,045	6,122	6,188
営業費用および減価償却費	-3,679	-3,690	-3,878	-3,710	-3,669	-3,621
営業総利益	2,418	2,437	2,128	2,335	2,453	2,567
リスク費用	-833	-827	-916	-844	-869	-936
営業利益	1,585	1,610	1,212	1,491	1,584	1,631
営業外損益	51	60	97	82	40	43
税引前利益	1,636	1,670	1,309	1,573	1,624	1,674
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	33.7	34.0	32.9	32.9	32.7	32.8
(単位: 百万ユーロ)						
国内市場(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CELの影響を除く						
営業収益	3,961	4,023	3,885	3,932	3,970	4,008
営業費用および減価償却費	-2,467	-2,441	-2,642	-2,554	-2,503	-2,461
営業総利益	1,494	1,582	1,243	1,378	1,467	1,547
リスク費用	-381	-364	-380	-344	-354	-327
営業利益	1,113	1,218	863	1,034	1,113	1,220
関連会社損益	10	11	-4	9	3	12
その他営業外項目	0	3	5	2	7	-2
税引前利益	1,123	1,232	864	1,045	1,123	1,230
資産運用および証券管理事業帰属利益	-53	-57	-46	-45	-57	-58
国内市場税引前利益	1,070	1,175	818	1,000	1,066	1,172
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	21.3	21.5	21.0	20.9	20.7	20.6
(単位: 百万ユーロ)						
国内市場(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	3,799	3,890	3,759	3,834	3,862	3,895
営業費用および減価償却費	-2,411	-2,388	-2,588	-2,498	-2,446	-2,408
営業総利益	1,388	1,502	1,171	1,336	1,416	1,487
リスク費用	-382	-364	-378	-343	-354	-327
営業利益	1,006	1,138	793	993	1,062	1,160
関連会社損益	10	11	-4	8	3	12
その他営業外項目	0	3	5	2	7	-2
税引前利益	1,016	1,152	794	1,003	1,072	1,170
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	21.3	21.5	21.0	20.9	20.7	20.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



BNP PARIBAS

(単位: 百万ユーロ)	2012	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む) *						
営業収益	1,716	1,790	1,673	1,751	1,790	1,806
うち受取利息純額	1,020	1,071	989	1,046	1,054	1,060
うち手数料	696	719	684	705	736	746
営業費用および減価償却費	-1,098	-1,090	-1,190	-1,168	-1,116	-1,099
営業総利益	618	700	483	583	674	707
リスク費用	-85	-84	-85	-69	-81	-80
営業利益	533	616	398	514	593	627
営業外損益	1	0	1	1	0	1
税引前利益	534	616	399	515	593	628
資産運用および証券管理事業帰属利益	-30	-34	-28	-28	-34	-34
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	504	582	371	487	559	594
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.8	7.9	7.6	7.6	7.4	7.3
(単位: 百万ユーロ)						
PEL/CCEL の影響を除くフランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む) *						
営業収益	1,770	1,813	1,697	1,748	1,784	1,808
うち受取利息純額	1,074	1,094	1,013	1,043	1,048	1,062
うち手数料	696	719	684	705	736	746
営業費用および減価償却費	-1,098	-1,090	-1,190	-1,168	-1,116	-1,099
営業総利益	672	723	507	580	668	709
リスク費用	-85	-84	-85	-69	-81	-80
営業利益	587	639	422	511	587	629
営業外損益	1	0	1	1	0	1
税引前利益	588	639	423	512	587	630
資産運用および証券管理事業帰属利益	-30	-34	-28	-28	-34	-34
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	558	605	395	484	553	596
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.8	7.9	7.6	7.6	7.4	7.3
(単位: 百万ユーロ)						
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの 2/3 を含む)						
営業収益	1,658	1,730	1,618	1,695	1,728	1,745
営業費用および減価償却費	-1,069	-1,064	-1,163	-1,139	-1,088	-1,072
営業総利益	589	666	455	556	640	673
リスク費用	-86	-84	-85	-69	-81	-80
営業利益	503	582	370	487	559	593
営業外損益	1	0	1	0	0	1
税引前利益	504	582	371	487	559	594
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.8	7.9	7.6	7.6	7.4	7.3

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の 100%を含む



BNP PARIBAS

(単位: 百万ユーロ)	2012	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
BNL バンカ・コメルシアール (イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む)*						
営業収益	813	816	811	796	797	798
営業費用および減価償却費	-444	-442	-489	-444	-452	-444
営業総利益	369	374	322	352	345	354
リスク費用	-230	-219	-203	-198	-196	-198
営業利益	139	155	119	154	149	156
営業外損益	0	0	0	0	0	0
税引前利益	139	155	119	154	149	156
資産運用および証券管理事業帰属利益	-7	-5	-2	-3	-5	-4
BNL bc 税引前利益	132	150	117	151	144	152
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.3	6.4	6.4	6.4	6.3	6.3
(単位: 百万ユーロ)						
BNL バンカ・コメルシアール (イタリア国内プライベート・バンキングの 2/3 を含む)						
営業収益	801	805	801	787	786	789
営業費用および減価償却費	-439	-436	-483	-438	-446	-439
営業総利益	362	369	318	349	340	350
リスク費用	-230	-219	-201	-198	-196	-198
営業利益	132	150	117	151	144	152
営業外損益	0	0	0	0	0	0
税引前利益	132	150	117	151	144	152
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.3	6.4	6.4	6.4	6.3	6.3
(単位: 百万ユーロ)						
ベルギー国内リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む)*						
営業収益	837	841	820	809	796	813
営業費用および減価償却費	-612	-594	-612	-599	-601	-590
営業総利益	225	247	208	210	195	223
リスク費用	-41	-37	-36	-26	-53	-22
営業利益	184	210	172	184	142	201
関連会社損益	4	5	1	2	2	2
その他営業外項目	2	3	-1	4	2	0
税引前利益	190	218	172	190	146	203
資産運用および証券管理事業帰属利益	-16	-17	-15	-13	-17	-19
ベルギー国内リテール・バンキング税引前利益	174	201	157	177	129	184
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4
(単位: 百万ユーロ)						
ベルギー国内リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 2/3 を含む)						
営業収益	801	804	785	775	758	774
営業費用および減価償却費	-592	-574	-592	-579	-580	-570
営業総利益	209	230	193	196	178	204
リスク費用	-41	-37	-36	-25	-53	-22
営業利益	168	193	157	171	125	182
関連会社損益	4	5	1	2	2	2
その他営業外項目	2	3	-1	4	2	0
税引前利益	174	201	157	177	129	184
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の 100%を含む



BNP PARIBAS

(単位：百万ユーロ)	2012	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
パーソナル・ファイナンス						
営業収益	1,244	1,231	1,272	1,250	1,310	1,310
営業費用および減価償却費	-592	-642	-636	-580	-613	-591
営業総利益	652	589	636	670	697	719
リスク費用	-374	-327	-412	-390	-406	-431
営業利益	278	262	224	280	291	288
関連会社損益	24	24	29	27	18	21
その他営業外項目	4	0	59	3	2	1
税引前利益	306	286	312	310	311	310
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.0	5.1	4.9	5.0	5.0	5.0
欧州・地中海沿岸諸国						
営業収益	448	413	422	401	399	417
営業費用および減価償却費	-333	-318	-328	-333	-308	-308
営業総利益	115	95	94	68	91	109
リスク費用	-45	-90	-70	-48	-47	-103
営業利益	70	5	24	20	44	6
関連会社損益	13	20	11	16	12	11
その他営業外項目	-1	1	-2	25	-2	-1
税引前利益	82	26	33	61	54	16
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4
バンクウエスト						
営業収益	606	593	553	560	551	566
営業費用および減価償却費	-343	-342	-326	-299	-302	-314
営業総利益	263	251	227	261	249	252
リスク費用	-32	-46	-56	-63	-62	-75
営業利益	231	205	171	198	187	177
営業外損益	1	1	-1	1	0	1
税引前利益	232	206	170	199	187	178
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.0	4.0	3.8	3.7	3.8	3.9



BNP PARIBAS

(単位：百万ユーロ)	2012	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
資産運用および証券管理						
営業収益	1,566	1,521	1,406	1,462	1,533	1,521
営業費用および減価償却費	-1,068	-1,043	-1,134	-1,043	-1,039	-1,042
営業総利益	498	478	272	419	494	479
リスク費用	-3	-11	3	-53	-19	5
営業利益	495	467	275	366	475	484
関連会社損益	35	9	-50	-111	-8	35
その他営業外項目	1	7	-19	-2	66	13
税引前利益	531	483	206	253	533	532
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	7.9	7.9	7.5	7.4	7.2	7.1
(単位：百万ユーロ)	2012	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
富裕層向け資産運用						
営業収益	710	706	725	714	741	777
営業費用および減価償却費	-528	-520	-598	-539	-539	-544
営業総利益	182	186	127	175	202	233
リスク費用	1	-6	3	-5	0	8
営業利益	183	180	130	170	202	241
関連会社損益	12	7	5	15	5	8
その他営業外項目	1	5	-19	-2	66	16
税引前利益	196	192	116	183	273	265
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	1.8	1.9	1.7	1.7	1.7	1.6
(単位：百万ユーロ)	2012	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
保険						
営業収益	475	475	351	421	429	425
営業費用および減価償却費	-241	-234	-243	-224	-223	-222
営業総利益	234	241	108	197	206	203
リスク費用	-4	-5	-1	-48	-19	-3
営業利益	230	236	107	149	187	200
関連会社損益	23	1	-55	-125	-13	27
その他営業外項目	1	1	0	0	0	-3
税引前利益	254	238	52	24	174	224
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.6	5.5	5.3	5.2	5.1	5.0
(単位：百万ユーロ)	2012	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
証券管理						
営業収益	381	340	330	327	363	319
営業費用および減価償却費	-299	-289	-293	-280	-277	-276
営業総利益	82	51	37	47	86	43
リスク費用	0	0	1	0	0	0
営業利益	82	51	38	47	86	43
営業外損益	-1	2	0	-1	0	0
税引前利益	81	53	38	46	86	43
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5



BNP PARIBAS

(単位: 百万ユーロ)	2012	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
コーポレートバンキング・投資銀行						
営業収益	2,230	3,121	1,685	1,787	2,920	3,505
営業費用および減価償却費	-1,397	-1,892	-1,569	-1,120	-1,613	-1,824
営業総利益	833	1,229	116	667	1,307	1,681
リスク費用	-19	-78	-72	-10	23	-16
営業利益	814	1,151	44	657	1,330	1,665
関連会社損益	6	14	1	14	13	10
その他営業外項目	1	2	1	11	27	3
税引前利益	821	1,167	46	682	1,370	1,678
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	17.2	18.1	16.9	17.0	17.2	17.5
(単位: 百万ユーロ)						
アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット						
営業収益	1,207	2,249	767	752	1,803	2,343
営業費用および減価償却費	-958	-1,471	-1,153	-672	-1,163	-1,389
営業総利益	249	778	-386	80	640	954
リスク費用	-94	37	33	-42	9	21
営業利益	155	815	-353	38	649	975
関連会社損益	2	9	1	7	9	0
その他営業外項目	1	2	0	5	8	0
税引前利益	158	826	-352	50	666	975
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	8.3	8.8	6.7	6.8	6.8	6.8
(単位: 百万ユーロ)						
コーポレート・バンキング						
営業収益	1,023	872	918	1,035	1,117	1,162
営業費用および減価償却費	-439	-421	-416	-448	-450	-435
営業総利益	584	451	502	587	667	727
リスク費用	75	-115	-105	32	14	-37
営業利益	659	336	397	619	681	690
営業外損益	4	5	1	13	23	13
税引前利益	663	341	398	632	704	703
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	8.9	9.3	10.1	10.2	10.4	10.7
(単位: 百万ユーロ)						
コーポレート・センター (クレビエールを含む)						
営業収益	205	-883	589	738	406	471
営業費用および減価償却費	-193	-222	-97	-235	-281	-241
うち事業再編費用	-104	-65	-213	-118	-148	-124
営業総利益	12	-1,105	492	503	125	230
リスク費用	2	-29	-533	-2,103	-485	28
営業利益	14	-1,134	-41	-1,600	-360	258
関連会社損益	31	76	-24	26	4	6
その他営業外項目	-48	1,676	-170	14	97	-39
税引前利益	-3	618	-235	-1,560	-259	225



	ページ
厳しい経済環境の中、業績は好調	2
リテール・バンキング事業	3
国内市場部門	3
資産運用および証券管理事業	9
コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業	10
コーポレート・センター	11
流動性および資金調達	12
自己資本比率	13
連結損益計算書	15
2012 年度第 2 四半期 - コア事業部門別業績	16
2012 年度中間決算（1 - 6 月） - コア事業部門別業績	17
四半期決算	18

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2012 年 4 月 18 日に、BNP パリバは、2011 年度の四半期決算に関わる修正を公表しました。かかる修正には、各事業部門に配賦される資本がリスク加重資産の 7%から 9%へと引き上げられた旨、および「国内市場」部門の創設、ならびに事業部門間の業務の移管が特に反映されています。これらの修正決算報告において、2011 年度に関わる数値は、あたかも取引が 2011 年 1 月 1 日に実行されたかのように表示されています。本プレゼンテーションは、修正された 2011 年度の四半期数値に基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。